

11/27(月)の発表



報道発表資料の配付日時 11月27日(月)

発表項目 (行事名)	令和5年の気象経過と農作物の生育状況について	
概要	<p>道では、農作物の生育状況等を的確に把握することにより、その状況に即した営農技術対策を策定し、これに基づく営農指導を進め、農業生産の安定向上に資することを目的に、農作物生育状況調査を実施し、公表しています。</p> <p>10月19日に今年度の公表を終えたため、総括として令和5年の気象経過と農作物の生育状況の概要について発表します。</p>	
参考		
報道(取材)に当たってのお願い		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク 記者レク	
その他		
担当 (連絡先)	北海道十勝総合振興局産業振興部農務課農産係 (担当:田中) TEL 0155-26-9064(直通)	

令和5年の気象経過と農作物の生育状況（概要版）

令和5年11月27日
十勝総合振興局農務課

1 気象経過

4月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日もあり、16日には低気圧が通過して管内でまとまった雨が降った。平均気温は平年よりかなり高く、降水量、日照時間は共に平年並だった。

5月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあった。平均気温は平年より高く、降水量はかなり少なく、日照時間は多かった。

6月は低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多く、3日には低気圧が通過してまとまった雨が降った。一方、高気圧に覆われて晴れた日もあり、25日から27日にかけては南から暖かい空気が流れ込んで暑くなった。平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年並、日照時間は多かった。

7月は前線や低気圧を含む気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、上旬と下旬は高気圧に覆われて晴れた日もあった。25日から29日にかけては、太平洋高気圧が張り出して連日最高気温が35度以上の猛暑日となった地点があるなど、暑くなった日が続いた。平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年並、日照時間はかなり多かった。

8月は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、6日、16日にはまとまった雨が降ったが、高気圧の張り出しが強まり晴れた日もあった。暖かい空気に覆われ続けたため、真夏日となった日が多かった。平均気温は平年よりかなり高く、降水量は少なく、日照時間は平年並だった。

9月は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。14日には前線が接近して暖かく湿った空気が流れ込み、まとまった雨が降った。平均気温は平年よりかなり高く、降水量は多く、日照時間は少なかった。

10月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、低気圧や前線の影響を受けた日もあり、5日と10日にはまとまった雨が降った。平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年並、日照時間は多かった。

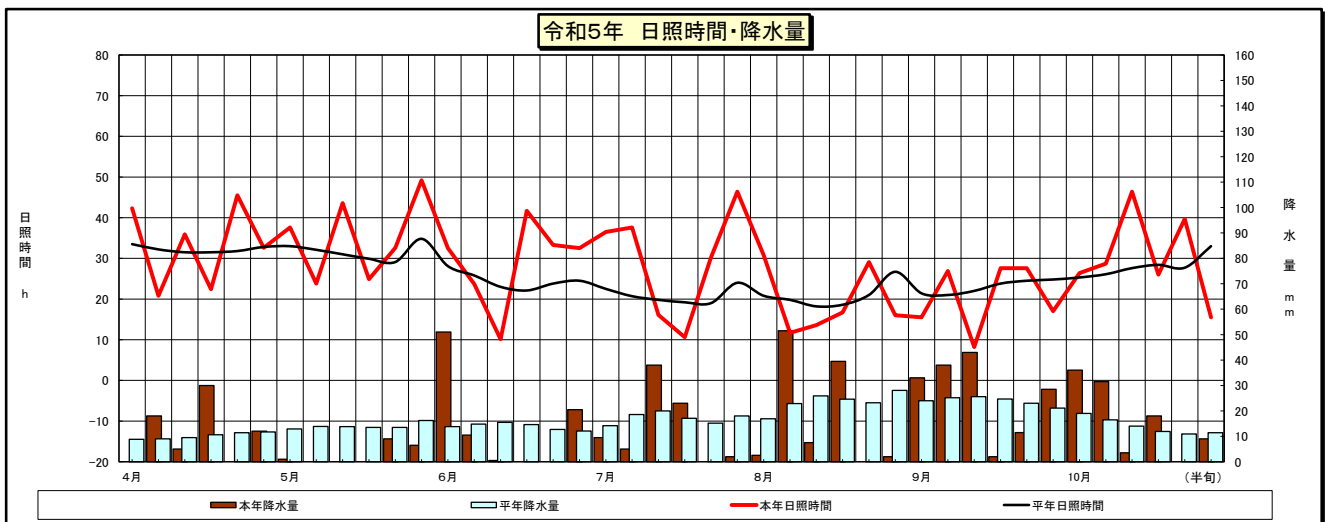
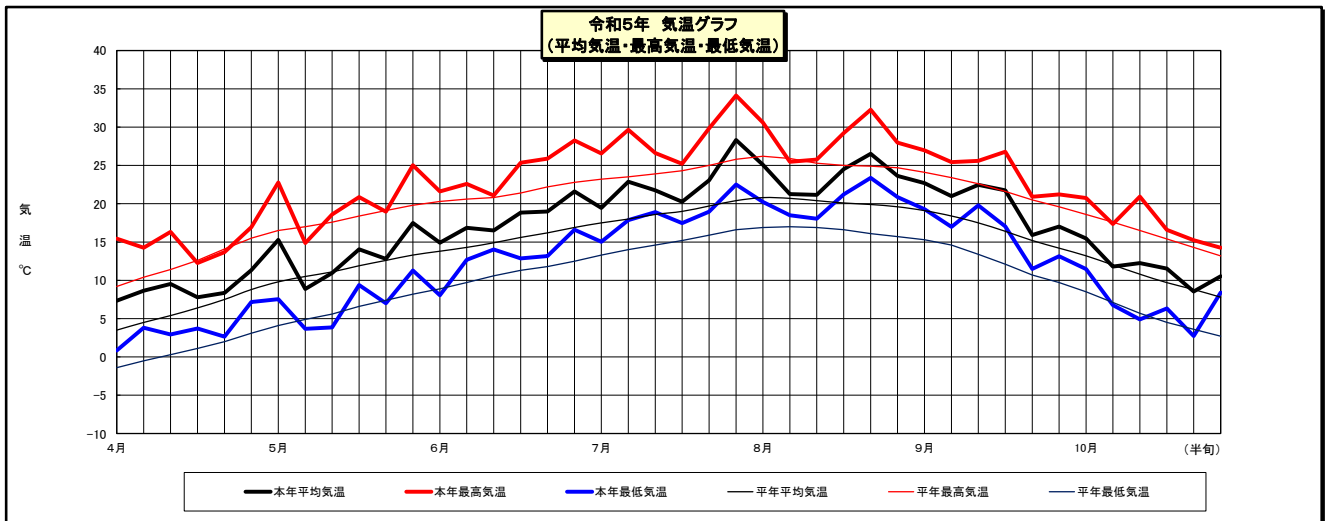
〔4月～10月の気象経過（帯広）〕

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平均気温	8.8℃ (+2.8℃)	13.4℃ (+1.8℃)	18.0℃ (+2.8℃)	22.8℃ (+3.9℃)	23.7℃ (+3.4℃)	20.1℃ (+3.2℃)	11.6℃ (+1.3℃)
降水量	65.0mm (108%)	21.5mm (25%)	82.5mm (102%)	77.5mm (72%)	103.0mm (73%)	156.0mm (111%)	98.0mm (114%)
日照時間	199.5h (103%)	211.7h (112%)	173.8h (117%)	177.4h (146%)	117.9h (94%)	122.8h (89%)	182.7h (109%)

【4月～10月累計】平均気温 3624.9℃ (119%)、降水量 603.5mm (86%)、日照時間 1185.8h (109%)

※ 括弧内の数値は平年比です。

(アメダス帯広)



2 融雪及び耕起作業

- 融雪期は3月30日で、平年より9日早かった。
- 融雪は平年より早かったが、その後降雪があり、耕起作業は平年並に進んだ。

3 各作物の生育状況

■ 秋まき小麦

- 昨秋は、降雨によりは種期は平年より1日遅く、出芽期も1日遅かった。
- 起生期は好天により平年より1日早く、雪腐病の発生は平年よりやや少なかった。
- 4月は好天が多く、幼穂形成期は5日早かったが、5月上旬の低温により生育が一時停滞し、出穂期は3日早かった。その後、高温・多照により登熟は進み、成熟期は平年より7日早かった。
- 収穫作業は、生育が早かったことから平年より6日早く始まり、7日早く収穫を終えた。

■ ばれいしょ

- 4月の好天により植付作業は平年より1日早く始まり、植付終は2日早かった。
- 萌芽期は平年より1日早く、その後は高温・多照により生育は早く進んだ。
- 7月中下旬の高温少雨により茎葉黄変は早く進み、茎葉黄変期は平年より6日早かった。
- 収穫作業は、生育が早かったことから平年より3日早く始まり、収穫終も3日早かった。
- 上いも数は平年と比べやや多く、1個重は平年並だった。

■ てんさい（移植）

- 4月の好天により移植作業は平年より1日早く始まり、移植終も平年より1日早かった。
- 6月中旬以降の高温・多照により、生育は平年より早まった。
- 8月以降の高温・多湿傾向により、病害が平年よりやや多かった。
- 根周は平年比104%（10/15現在）となっており、根部肥大は平年並である。

■ てんさい（直播）

- は種作業は、好天により平年より2日早く始まったが、その後降雨により作業が停滞し、は種終は平年並だった。
- 6月中旬以降の高温・多照により、生育は平年より早まった。
- 8月以降の高温・多湿傾向により、病害が平年よりやや多かった。
- 根周は平年比104%（10/15現在）となっており、根部肥大は平年並である。

■ 豆 類

- 好天により、は種作業は大豆・小豆・手亡は平年より1日早く、金時は平年より2日早く終了した。
- 6月中旬以降は、高温・多照により生育が平年より早く進み、成熟期は大豆が平年より10日早く、小豆と手亡は13日早く、金時は11日早かった。
- 収穫作業は、高温による茎葉の枯凋の遅れなどにより作業が停滞したものの、金時の収穫終は平年より9日早く、手亡は4日早く、小豆の収穫期は平年より3日早かった。大豆の収穫始は、成熟期を平年より早く迎えたものの、その後の気温が平年より高く推移した影響で茎水分の低下が遅れたこと、10月上旬の降雨で作業が遅れたことにより、平年より2日遅かった。

■ 牧 草

- 1番草の生育は、融雪が早くまた気温も高く推移したため平年より5日早く萌芽期を迎えたが、その後は少雨により生育が緩慢になり、出穂始は平年より1日早かった。
- 収穫作業は、平年より1日早く始まり、その後も好天により順調に作業は進み、平年より8日早く終了した。
- 2番草の生育は、降水量の不足により生育が緩慢となったものの、平年より2日早かった。
- 収穫作業は好天により平年より3日早く始まり、その後も順調に作業は進み、平年より5日早く収穫を終えた。

■ とうもろこし（サイレージ用）

- は種作業は平年より1日早く始まり、その後も好天により順調に作業は進み、は種終は3日早かった。
- 出芽は平年より2日早く、その後高温・多照により生育が早く進み、黄熟期は14日早かった。
- 収穫作業は、作業の競合などにより開始が遅れたものの、収穫始は平年より8日早く、収穫終は7日早かった。

4 まとめ

本年の農作物の生育状況は、期間を通して平年よりも気温が高く推移したことなどから、各作物とも生育は平年よりも早く進んだ。